

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学籍番号	BN22260		
・ 氏名	緒方香歩		
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	生命科学科生命医工学コース		
・ 学年(渡航開始時)	3年後期		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報																			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型																		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型																		
・ 国・地域名	ドイツ																		
・ 都市名	コーブルク																		
・ 留学先大学名	コーブルク応用科学大学																		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）																		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	9月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)																
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<table><tbody><tr><td>☐ 1年前期</td><td>☐ 修士1年前期</td></tr><tr><td>☐ 1年後期</td><td>☐ 修士1年後期</td></tr><tr><td>☐ 2年前期</td><td>☐ 修士2年前期</td></tr><tr><td>☐ 2年後期</td><td>☐ 修士2年後期</td></tr><tr><td>☐ 3年前期</td><td>☐ 博士以上</td></tr><tr><td>☒ 3年後期</td><td></td></tr><tr><td>☐ 4年前期</td><td></td></tr><tr><td>☐ 4年後期</td><td></td></tr></tbody></table>			☐ 1年前期	☐ 修士1年前期	☐ 1年後期	☐ 修士1年後期	☐ 2年前期	☐ 修士2年前期	☐ 2年後期	☐ 修士2年後期	☐ 3年前期	☐ 博士以上	☒ 3年後期		☐ 4年前期		☐ 4年後期	
☐ 1年前期	☐ 修士1年前期																		
☐ 1年後期	☐ 修士1年後期																		
☐ 2年前期	☐ 修士2年前期																		
☐ 2年後期	☐ 修士2年後期																		
☐ 3年前期	☐ 博士以上																		
☒ 3年後期																			
☐ 4年前期																			
☐ 4年後期																			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	自分の専門分野の授業が履修できること、寮が確約であること、戦争等の社会情勢的に安全そうな国であること、授業料の支払い義務の有無等条件から選んだ。																		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)																			

留学中の学籍について

・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 （留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等）	国際プログラムの交換留学として渡航先で授業を履修、単位を取得できたため、

留学先での学習・研究状況

・ 留学先での学習・研究状況につき、 概要を記載してください。	生命科学科履修の授業に関しては、学部で授業が英語で開講されていなかったため大学院の授業を受けた。大学院の授業は基本ドイツ語開講だったが、8つ程度の中から選択したものを英語で開講してくれた。		
・ 授業を履修した場合、具体的な科目の 情報教えてください。 （たくさん履修した場合は適宜追加し て記載してください。また科目概要な ど、欄に収まらない場合は、適宜行 の幅を大きくして記載してください。）	科目名①	Medical Imaging Technology	単位数 （現地単位数） 3
	科目概要	MRIやCTなど医用画像機器の仕組みについての学習。履修者は3人。教授がとてもいい人で授業だけで無く、滞在先での生活についての心配をしてくれたり、Coburgでのおすすめの場所を教えてくれたりした。テストは記述形式だった。	
	科目名②	General English Module 1	単位数 （現地単位数） 5
	科目概要	B2レベルに達するための英語の授業。課題が毎週出るため履修していた中で一番重い授業ではあったが、より実用的な英語の文法を学べた。テストは文法問題、リーディング問題、ライティング問題から構成されていた。	
	科目名③	Flow Cytometry	単位数 （現地単位数） 3
	科目概要	フローサイトメトリーという機器の仕組みや使い方、実験の結果の読み取り、応用について学ぶ授業。内容はとても難しく、理解にとても時間がかかった。血液関係の研究室に所属する予定のある人は履修するととても役立つのでは無いかと感じた。授業形態はオンラインでテストもオンラインであった。	
	科目名④	KI-basierte Modellierung und Analyse von komplexen Netzwerken	単位数 （現地単位数） 3
	科目概要	pythonを用いたプログラミングの授業で授業内では論文等を読んだり作成してきたプログラミングのコードを教授に観て貰い、アドバイスを貰うという形態であった。履修者は6人で、ペアでの作業であった。最終課題として授業機関で作り上げたコードとそれに関するレポート1500words以内をペアで一つ提出するといったものであった。	
	科目名⑤	German Intensive Course I A1	単位数 （現地単位数） 5
	科目概要	一からドイツ語を学ぶコースであったが、先生がドイツ語しか話せないで少し大変だったが、少しドイツ語を話せる留学生に通訳して貰いながらコミュニケーションを取っていた。違うコースの留学生と交流のできる場である。週に2回、2時間半。テストはライティング、リスニング、リーディング、スピーキングの四技能でスピーキングはグループで会話をする型式、その他はパソコンを用いたオンライン形式だった。	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

International Stammtischというものが隔週で開催され、留学生と留学に興味のあるドイツの学生の交流の場があった。また、GastFREUNDschaftという地域の人との交流の場があった。この大学には部活動がないので、授業以外でドイツ人と関わる機会を得るためにはこういったイベントに積極的に参加する必要がある。留学生同士の交流の場にもなる。さらに、international office主催のイベントが時々あり、皆で近くの街の観光に行ったり、アイススケートやボルダリングに行く機会があった。こういったイベントで出会った人たちと積極的に連絡を取り合い、個人的に遊びに行くことが大切だと感じた。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

私は、留学前特に英語の勉強をしなかったため、渡航してから自分の英語力のなさやコミュニケーション能力の大切さを実感した。最初に英語が全然通じないという印象とコミュニケーション能力のない人という印象がついてしまうとなかなかイメージを変えるのは難しいため、留学前に最低限の英語力を身につけ、恥ずかしがらずにいろいろな人に話しかけることが大切だと感じた。また、留学生同士の会話で絶対に話題に上がる宗教の話や文化の話、日本の観光で有名ではないけどおすすめの場所を聞かれたらすぐに答えられるようにしておく会話が盛り上がって仲良くなれるのではないかと感じた。服や生活に必要なものは大抵渡航先で手に入るため、心配しすぎる必要は無いと感じた。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
出願に関するメールや登録用のサイト等を見ても何をすべきがよく分からず、後回しにしてしまい、出願締め切り2日前までほとんど何も準備をしていなかった。できることは早めに全て準備をし、分からないことがあったら、学科の国際担当の教授や、国際部に質問しに行くことをおすすめする。埋めなければならない書類は多数あったが、準備に手間がかかったものは特になかった。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
在学証明、留学期間中の生活費を所持していることを証明するもの(ブロックアカウント)、保険、滞在場所の証明が必要であった。日本のドイツ大使館の予約がなかなか取れなかったため、ドイツに渡航後大使館のようなところに行き、申請した。留学先の大学の国際部が申請の予約を取ってくれ、当日も同行してくれた。なかなか申請から取得まで連絡が来ないため、遅いと感じたら自分から大使館にメールを送って急かす必要がある。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
ドイツは上記のようにビザ取得のためにブロックアカウントが必須であり、ブロックアカウントのアクティベートにドイツの電話番号が必須である。そのため、向こうで電話番号付きのsimが必要になるが、vodafoneというsimがヨーロッパ全土で使用できるので留学中旅行をする予定のある人にもお勧めである。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
出願後にメールで寮に申し込んだ。部屋は第三希望まで送信できたが、1セメスター留学の学生は全員同じ寮だった。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
電車とバスを乗り継いで最寄り駅まで行った後、学生が迎えに来てくれて寮まで案内してもらった。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
徒歩5分くらいで教室に着く位置に全ての寮があった。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
多少隣人の声が聞こえることもあったが、それほど気にならず一人で暮らすには十分な広さがあった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥22,000	初期費用
往復航空券代(往復)	¥230,000	ターキッシュエアライン使用, 羽田↔ニュルンベルク
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥210,000	大学指定の保険, ドイツ指定保険
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥16,000	ビザ申請費用
計	¥478,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥42,000	留学生は全員寮に入る。どの寮かによっても値段は異なる
食費/月	¥8,000	安いスーパーが沢山ある
その他/月	¥170,000	sim代1600¥/月, 放送料金3000¥/月, d-ticket4000¥/月, その他, シャンプー, お菓子, 旅行代金等
計	¥220,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

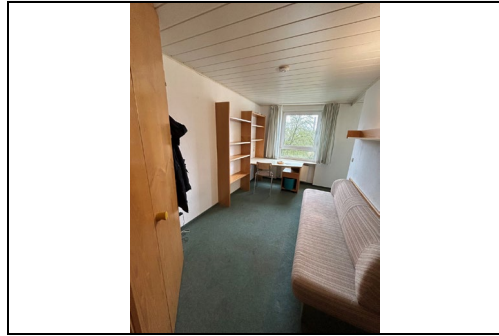
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学の図書館

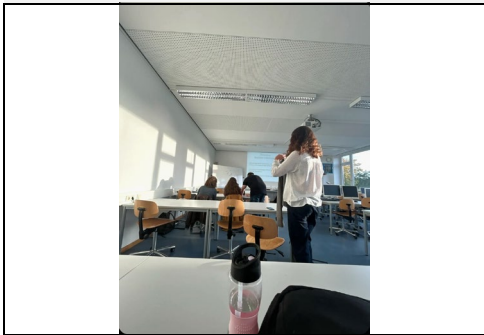
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

HOUSE COBURGという寮, キッチン, 風呂トイレ付き,
電子レンジなし, 冷蔵庫あり

その他、任意の写真



説明文

授業風景

その他、任意の写真



説明文

MENSAという大学の食堂, 芝浦の食堂と同じくらいの
価格, 量

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。